

教職員の勤務時間（平成29年9月）

※（ ）内は平成28年9月との比較

校種	平日勤務			80時間超過者
	平均出勤時刻	平均退勤時刻	在校時間 (休憩除く)	
小学校	7時21分(±0分)	18時42分(△7分)	10時間21分(△7分)	3.8%(△4.3%)
中学校	7時19分(△2分)	19時26分(△13分)	11時間7分(△15分)	37.8%(△8.4%)
高等学校	7時48分(△6分)	18時36分(△14分)	9時間47分(△20分)	30.9%(△1.3%)
特別支援学校	7時59分(△3分)	18時07分(△8分)	9時間7分(△11分)	1.2%(△1.6%)

○ 全国平均と比べ、小学校教諭で約20分程度、中学校教諭で約50分程度長い傾向（文部科学省「平成28年度教員勤務実態調査」と本県平成28年9月調査による）

現
状

【県教育委員会の主な取組】

- ◆教職員の勤務時間管理 … 勤務時間の把握と長時間勤務者への面談指導
- ◆部活動休養日の設定 … 原則として、土日1日、平日1日の休養日の設定
- ◆部活動指導体制の見直し … 共同管理体制の導入
- ◆部活動指導の支援 … 部活動講師、地域スポーツ指導者の配置
- ◆教員の事務作業の支援 … 学校運営支援員の配置（小中学校129校）
- ◆校務支援システムの整備 … 県内全学校向けの統一システム構築
- ◆保護者に理解と協力を依頼 … 県PTA連合会と連名で教員の業務改善への理解依頼
- ◆保護者からの相談体制整備 … 教育総合研究所の「24時間相談電話」体制強化
- ◆業務改善策の検討 … 市町教育委員会や現場の教員との検討

【市町教育委員会の取組例】

- ◆教職員の一斉退勤日の設置
- ◆長期休業中の学校閉庁日の設定
- ◆新年度始業日の見直し
- ◆タイムカードの導入
- ◆夜間留守番電話の設置
- ◆部活動開始時刻の見直し

【学校の取組例】

- ◆校務分掌の見直し、校務のスリム化
- ◆学校行事の統合、見直し
- ◆文書のペーパーレス化
- ◆マークシートを用いた調査の導入
- ◆校内ネットワークの活用
- ◆教材・教具の共有化
- ◆会議の削減、時間短縮、資料事前配布
- ◆PTA会議の終了時刻の設定 など

現
在
ま
で
の
取
組

学校運営支援員の配置拡充

- 教材やたよりの印刷・配布、ホームページの更新など教員を支援する業務を担当
- 県内全ての小中学校256校（※併設校は除く）に配置拡充のための事業費を補助

校務支援システムの運用

- 小・中学校向けの県内統一の校務支援システムを開発、運用
- 基本機能…校務・成績・保健機能の操作方法、帳票様式を統一
- 追加機能…教職員の在校時間管理、学校徴収金の収入支出管理

部活動指導員（講師）の配置拡充

- 単独で指導や引率ができる部活動指導員を県内全ての中学校（74校）および県立高校9校に配置拡充
- 中学校では市町教育委員会が事業主体となるため、配置拡充のための事業費を補助（報酬、旅費も補助対象）

今
後
の
取
組